

焼却灰等の放射能濃度測定結果について(令和7年5月分)

- ・測定機関 株式会社 日本環境調査研究所
- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン(平成23年12月 環境省)
- ・測定機器名 ゲルマニウム半導体検出器

(単位:Bq/kg)

対象施設	検体	試料採取日	セシウム		
			134	137	計
戸塚環境センター	焼却主灰	5月26日	不検出(9.0)	9.8	9.8
	飛灰		不検出(17)	33	33
朝日環境センター	熔融スラグ				
	熔融飛灰				

※ 朝日環境センターの熔融スラグ・熔融飛灰は火災の影響により検体が作れなくなったため測定不可

※ 不検出とは、検出下限値未満を表します。()内は検出下限値を表します。

※ 検体について

焼却主灰 : 燃やしたごみの燃えがら

飛灰 : ろ過式集じん器などで捕集した排ガスに含まれるダスト(ばいじん)

熔融スラグ : ごみを高温で熔融してできるガラス状の物質

熔融飛灰 : ろ過式集じん器などで捕集した排ガスに含まれるダスト(ばいじん)を
薬剤処理し、セメント固化したもの(固化灰)

空間放射性線量率測定結果

(単位: μ Sv/h)

対象施設	測定日	敷地境界				
		東	西	南	北	*1
戸塚環境センター	5月26日	0.040	0.039	0.051	0.044	0.040
朝日環境センター		0.067	0.038	0.049	0.038	0.049

※ 測定は市職員が行っております。

測定機器: (株)堀場製作所製 環境放射線モニタ PA-1000 ラディ

地表100cmの位置で測定実施

*1 焼却設備から最も離れた敷地境界です。